もみじ福祉会　ニュース

がんばろうや

２０００年１１月　第２４号

発行／社会福祉法人
もみじ福祉会

知的障害者授産施設（通所）　第一もみじ作業所
身体障害者通所授産施設　第二もみじ作業所
グループホーム　つばさ・たんぽぽ
〒730-0823　広島県広島市中区吉島西２－１－24
TEL(082)243-0331　FAX(082)243-0497
HP：www.fukushi-momiji.or.jp

もみじ福祉会の目指すもの（骨子）

私たちは、障害者も含めた地域で生活するすべての人たちが、文化的で平和な環境の下、自らの心と身体、そして人生の主人公として暮らせるための総合的な権利保障を目指し、以下の事に取り組みます。

1．仲間（利用者）の生きる力の充実と生活の質の向上を目指します。
2．地域の生活と福祉の向上への貢献を目指します。
3．事業の民主的な運営と地域の諸団体との協力・共同を大切にします。
4．これらの実践の要となる、職員の、障害や発達保障、福祉や障害者運動についての専門性の向上につとめます。

自立にむけて…ちょっと不安。でもがんばる。

やさしく咲いて
グループホーム たんぽぽスタート

男性のグループホームができて

一九九五年から始めた「宿泊訓練」、そして、「緊急一時・レスパイト事業」は、仲間の自立に向けての自信や要求をより高めていく取り組みとして、また、保護者の高齢化に伴う家族での介助力の低下に対して、大きな成果を上げてきました。

さらに、一九九九年十月に男性のグループホームが開所し、仲間が自立に向けて一層自信を持ちはじめ、また保護者に何かあった時にはグループホームでも受けられるようになったことは、次の女性のグループホームづくりへの大きな要求にもなってきました。

女性のグループホームを!!

将来構想の次の計画は、二〇〇二年目標の身障ホームとグループホームの合築施設建設でしたが、合築施設建設のための壁（土地確保）は容易でないだけに、まずは、女性のグループホームを早く作ってほしいと計画の変更が求められました。

一方、公営住宅法の改正で公営住宅をグループホームとして借りることができるようになりましたが、現実的には難しい課題が沢山あり、広島市に要望を出しました。そんな中、広島市の方でもいくつかの候補地を示され、何回か住宅の自治会との話し合いも重ねていただき、遂にもみじ作業所にほど近い吉島東住宅の一室を借りることができました。

このグループホーム「たんぽぽ」の開設は、広島では初の公営住宅を借りてのグループホームという意義と共に次の身障ホーム、グループホーム作りに向けても勢いを与えてくれました。

みんなの協力で花開いた

広島市長より九月に運営の指定を受けてから、十月一日開所までの一ヶ月という短い準備期間にも係わらず、保護者・関係者からの多大なご協力で無事開所にこぎ着けられたことに心から感謝しています。

開所式には、仲間と保護者をはじめ浜崎理事長、松尾理事、将来構想検討委員会の中村委員と多くの参加があり、楽しくにぎやかに初日を迎えることができました。実際に生活を始めるとまだ足りない物や不都合な所など出てきていますが、生活していく中で徐々に充実させていきたいと思います。

カンパの後は…いい笑顔

第二のわが家に

最初はなかなか寝つけなかった仲間も約一ヶ月たった現在では徐々に慣れ、食欲もでて（私が料理でがんばっているからかな?…世話人の談）楽しく過ごすことができています。

ある仲間は自分から食事の準備を手伝ってくれたりと、作業所では見られなかった場面を見せてくれています。

ある仲間の感想は…

「明るく広くきれいなところで良かった。最初はちょっと緊張したのと外の車の騒音で眠れなかった。家ではあまり食べれなかったけど、たんぽぽではみんなと一緒に食べるのでおいしい。このままがんばって泊まろうと思います。第二の我が家になればいいなと思います。」

…頑張って!

ボランティアさん募集!!

まだ開所したばかり。これから慣れるにつれて、仲間にとってどのようにしたら楽しく充実した生活を送れるかを考えていきたいと思います。

また、補助世話人さん（ボランティアさん）に来てもらって手伝ってもらっていますが、その都度連絡を取って確認をしている状態で、確保には頭を痛めているところです。これから、グループにして組織化し、連携していくことが大きな課題だと思います。

また、町内会の自治会活動への参加も積極的に行いながら、地域で支えられるグループホームを目指していきたいと思います。

「地域で暮らし続けたい」
グループホーム・身障ホーム建設支援。
1億円募金スタート!

もみじ作業所に通う仲間（利用者）たちの切実な願いは、親が年をとって介護力が低下した時も「地域で生活し、昼間は作業所に通える」現在のような「普通の生活」です。そのために三～四年の内に、知的障害者の生活する「グループホーム（定員五名）」と身体障害者の「身障ホーム（定員十名）」、さらに「ショートステイ事業（三名）」や地域の人たちとのふれあいを大切にするための「地域交流スペース」などを合わせもった生活支援基地の建設を目指しています。

しかし建設費は約三億円（試算）かかり、自己資金は少なくとも二億円必要です。もみじ福祉会では当面、二〇〇二年三月をめどに一億円募金の目標を立て、ひまわり会（仲間の自治会）、保護者会、理事会・評議員会、後援会など関係者一丸となって取り組みを開始しました。早速七月九日および十一月五日にはひまわり会の呼びかけで、市内数カ所で街頭カンパ活動を行い、各回とも二十五万円を上回る温かいご寄付を頂きました。

今後、支援バザーやチャリティコンサートなどいろいろな企画へのご支援、あるいは様々な形での一億円募金へのご協力のお願いにあがるかと思います。

仲間の二十一世紀への「夢」を「形」にすべく、皆様の暖かいご支援をお願い申しあげます。

―グループホーム・身障ホーム建設支援―

梅原司平チャリティコンサート

日時：2001年２月17日(土) 18時開場、18時30分開演
会場：広島市　東区民文化センター・ホール
主催：もみじ福祉会後援会
　　梅原司平チャリティコンサート実行委員会
チケット代：2500円
＊詳しくは同封のチラシをご覧下さい。

お仕事紹介シリーズII

さをり縫製グループ

それぞれの個性を大切に

さをり・縫製グループは、さをり七名・縫製三名の計十名で仕事をしています。昨年までは九名で仕事をしていましたが。今年から新しい仲間を一名加え、今までよりもにぎやかになり楽しく仕事をしています。

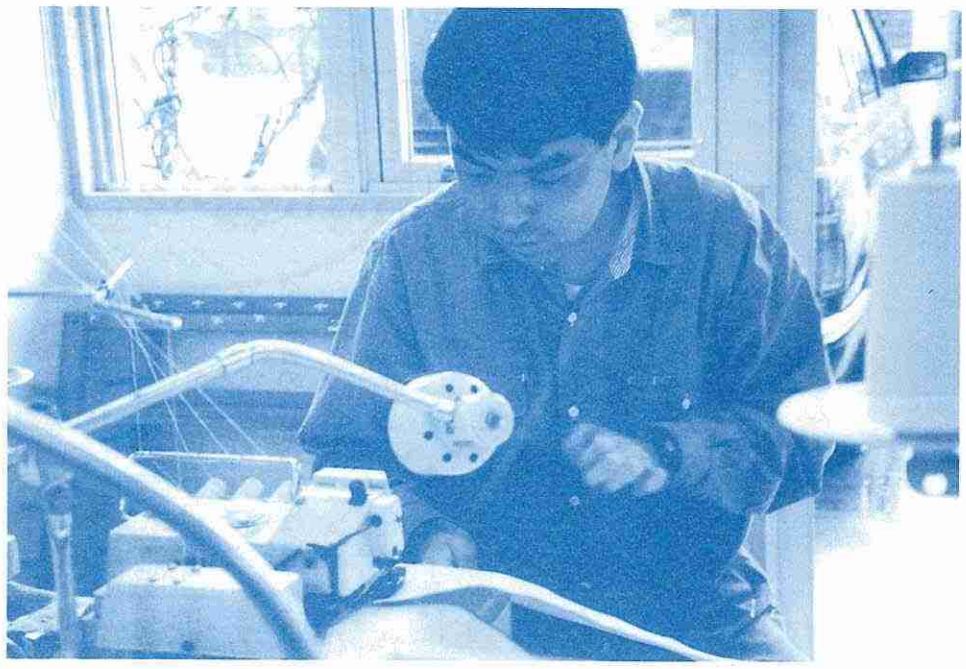
世界でひとつ わたしの織り ぼくのミシン

さをり織り

さをり織りは大阪在住の城みさを氏によって生まれたもので「既成概念に捕われず自由に自分を表現するもの」という考えのもと作られています。私たちも仲間一人一人の「私はこれが好き」という思いを大切に取り組んでいます。

仕事の中身としては、さをり織りは仲間それぞれの織りで巾着やポーチ、大きい物では服やタペストリーなどを作ってバザーで販売したり、お客様の希望にあわせて注文をもらったりして世界で一つだけの織りを作っています。

縫製では、共作連ふきん(かふきん)の厚延と一名置いて、年間に約千枚ぐらい作ったり、ポプリ、お弁当袋などを作ったりしています。最近では、素材にもこだわり、インド綿を使用したり、麻布を使用したりして商品のバリ



することをみんな楽しみにしています。

また、注文の商品を納品に行くのも仲間の[illegible]で、その

はなきんタイム!!

さをり・縫製グループでは一人一人の感性を育てるためやリラクゼーションとして金曜日の午後を利用して通称「はなきんタイム」という取り組みをしています。この取り組みでは、美術館や秋の紅葉などを見て「こんな織りをしたい」という気持ちを持ったり、外を走りまわることでストレス発散の場になって次への仕事の意欲作りの場として位置付いています。

仕事に充実感を

仲間一人一人の個性を大切にしていく中で、仲間たちの「こんなのが作りたい」と

仕事に対しての充実感をつくりだせるようにしていきたいと思います。また、「給料がたくさん欲しい」という気持ちに応えて販路の拡大、商品の充実が今後の課題でもあります。

きてね!

また、仲間の織りをみなさんに見てもらう機会として、そして何よりも仲間達の目標でもある展示会を二〇〇一年に開催予定です。その時はぜひ世界に一つだけのこころ暖ま[illegible]りを見に来て下さい。

また、展示会に向けての製品作りをお手伝い頂ける方を持がいく

フレフレ MOMIJI 応援団

平野美子さん

いってらっしゃ〜い

朝、送迎バスの乗り場にしている店の前でいつも暖かい眼差しで手を振り見送って下さる女性がいます。

仲間のご近所の方で、そのお店で仕事をされています。

仲間が暮らす地域それぞれにも、暖かい出会いや応援があります。私たちは色んなところで沢山の方に支えられ励まされているのです。

それが嬉しくて、お話ししてみたくなりました。

やさしい朝　街の中で

作業所の祭りやコンサートにも行ったんですよ。いいですねー。

色んな行事があって楽しそうですね。それにみなさん仕事も頑張られていて。私も何年か前まで施設にいたのでそういう場はとても大切なものに思えるんです。

朝、手を振ると今日は元気だなとか今日は疲れているのかなーとかわかります。

運転手さんもとても優しいですね。私にまで手をあげて応えて下さるのでうれしいです。

作業所の建物もきれいで色んな仕事があるのですね。みなさん楽しそーにやられていていいですね。

私は今、朝の少しの時間しか仕事をしていないけれど、もっとやりたいなと思いました。

これからも応援してます。

研修報告

パワーアップセミナー 生産力アップコース

主催　ヤマト福祉財団

二〇〇〇年九月二十八日〜三十日

このセミナーには全国の小規模作業所と認可作業所から三十一名の参加がありました。

動を強めていかなくてはいけないと話されました。

仲間たちが生活していける賃金を支給するために職員としての努力と、自立して生活出来るための、公的保障を求める運動の必要性を感じました。

（佐倉　敏美）

重度重複研究交流会

主催　共同作業所全国連絡会

二〇〇〇年〇月〇〇日〜〇〇日

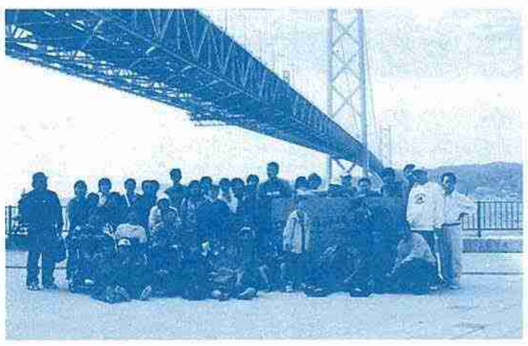
東京。東京駅から会場の晴美グラ

GoGo ミニレニアム2000 もみじ一泊旅行

10.13〜14

いろんな神戸

ポートタワー　神戸港クルーズ
明石海峡大橋　中華街ウォーク



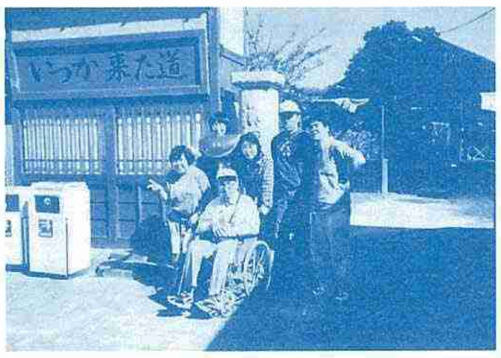
明石海峡大橋で　ハーイ　パチッ

ボランティアさんのこころえ

宴会も非常に楽しかったです。私どもの宴会のように「肩書き」と「作り笑い」の宴会に比べると数倍も楽しかったですよ。本当に楽しむ宴会はこうなんだなあと思いました。

ゆったり岡山

チボリ公園、みろくの里



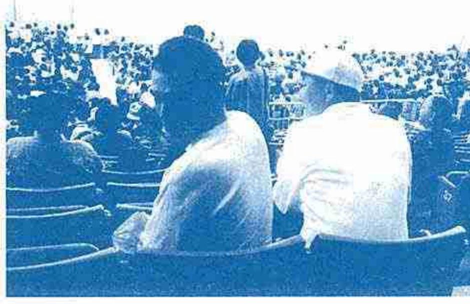
みろくの里　この道はいつかきた〜♪

ボランティアさんのこころえ

作業所でときどき会話をしていた仲間と同じグループでの行動でした。今回は二日間夜も一緒で違う一面を見る事が出来ました。寝顔は天使のようでした。ゆっくり見学はできなかったけれど楽しい二日間でした。

かっとばせー福岡

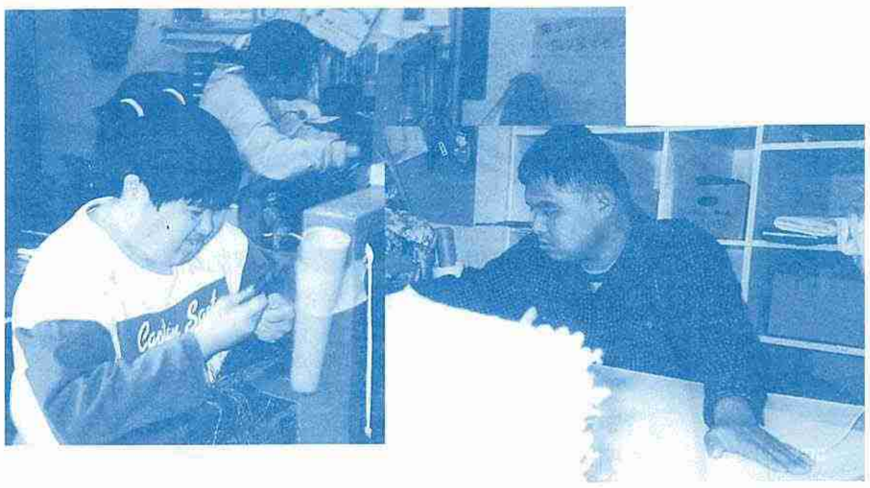
福岡ドーム　福岡タワー
マリンワールド
ビール工場見学



ふりむいてドーム♥

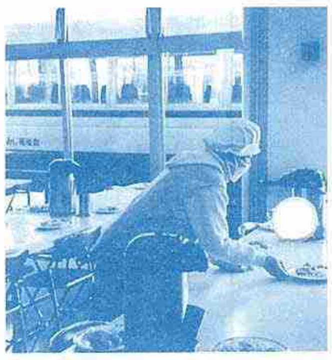
ボランティアさんのこころえ

こんなに楽しい旅行に参加させて頂いて本当に有り難うございました。自分はその人の一部分とかいいところしか見えていないと思うけれど、本当に色んな個性の人達と知り合えて、関わることが出来て楽しかったです。もし、また機会があれば宜しくお願いします。



楽しみながら目的をもって

仕事の最中はよく音楽を流してリラックスしながら仕事ができるようにしています。その選曲も仲間たちが家からCDをもってきたり、中にはレンタルショップで借りてきて聴いてる仲間もいます。さをりも縫製もどちらかというとみんなで一緒に仕事をするという場面が少ないのでストレスが溜りやすかったりするので音楽を聞きながら仕事をます。

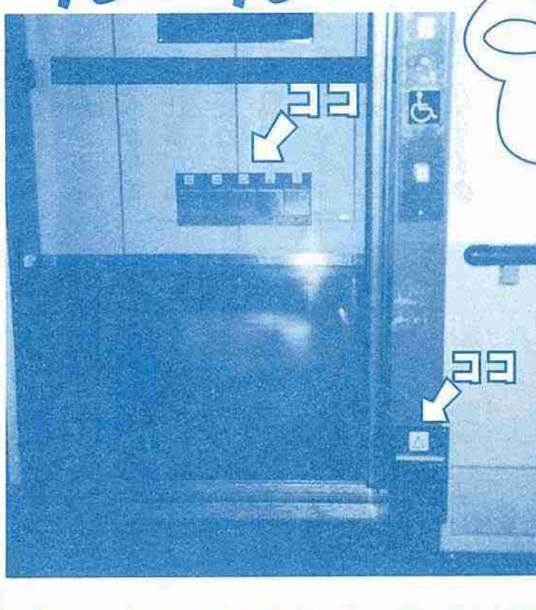


納品をとても楽しみにしている人もいて率先して立候補しています。

あと、十一時四十分からみんなの給食を配膳するという役割も持っていて、みんなで分担を決めて取り組んでいます。中には半分趣味?でお茶くみする仲間もいて、それぞれ目的をもって取り組んでいます。

見て見て

エレベーターにフットスイッチつきました！



仲間の自治会「ひまわり会」の要望が実ったヨ！

その中で作業所で働く障害者の賃金が、一人平均一万円でとても生活できる賃金ではないこと、少なくとも一人七万円は給料を支給し、最低賃金を保障していきたい。そのために、そこで働く職員はもっと仲間たちの給料を上げていくために頑張って欲しいと激をとばされました。

ヤマト福祉財団では、タカキベーカリーからパンの冷凍生地を仕入れ、「スワンベーカリー」というパン屋を経営されています。そこでは、職員・仲間という区別はなく、皆が従業員として働き、一人時給七百五十円を支払っているということでした。

特別報告では、共同作業所全国連絡会常任顧問の鈴木清覚さんより障害者福祉施策の潮流と小規模作業所問題の行方について報告がありました。小規模作業所が法定化されても、今まであった補助金を無しにするのではなく、さらに上乗せしていく運

場へ到着。

各施設、法人・無認可に関係なく一人ひとりの利用者を主人公にした労働の保障、社会参加、医療との連携などの実践を日々頑張っておられるなと感心しました。諸機関との連携という意味では、もみじ作業所は、昨年の四月より作業療法士でもある広島大学の八田先生に週一度来ていただいて、身障の仲間の二次障害対策についてのアドバイスをいただいています。試行錯誤の段階ではありますが、専門家の存在意義は大きいなと思っています。

また、小規模作業所等への単独の補助金が自治体によって、かなりの差があり、単に「いいよね。」と諦めるのではなく広島でも東京や神奈川においつけるように行政への働きかけも積極的に繰り広げていく必要性をいっそう感じて帰ってきました。

（木村　忠孝）

行事日誌

9月

3日　虹の会ゴロ野球参加
4日　いぶき作業所実習来所（〜8日）
　　　修道大より実習来所（〜14日）
　　　通所者健診③
5日　樫木さん実習
6日　地域販売デー
7日　宿泊訓練（〜9日）
10日　知的障害者スポーツ大会参加
11日　全労災より実習来所（〜21日）
14日　浜田市育成会より見学来所
18日　市立養護生徒2人実習（〜22日）
　　　生活自立訓練D－2
19日　鳥羽君基礎年金再審査請求公開審理
20日　アート療育アンデスより見学来所
23日　進徳学園バザー出店
　　　虹の会バーベキュー大会参加
25日　市立養護生徒2人実習（〜29日）
27日　家裁より実習来所（〜29日）
28日　生活自立訓練A－2
30日　西部デイサービス福祉展出店

10月

1日　グループホームたんぽぽ開所
　　　比治山学園祭委託出品
2日　司法修習生実習来所
　　　介護体験実習来所
4日　生活自立訓練B－2（〜6日）
7日　安田女子高学園祭委託出品
11日　吉島小学校へお話
13日　もみじ作業所一泊旅行（〜14日）
15日　YMCA保育園バザー委託出品
16日　梅原司平チャリティーコンサート第1回実行委員会
17日　防府市桑山中学校等見学来所
18日　生活自立訓練C－3（〜20日）
20日　広島市指導監査①
21日　互助会ソフトボール大会参加
　　　広島女子大紫苑祭出店
23日　広島市指導監査②
24日　クラブ活動
26日　新庄高校実習来所
29日　いもほり招待
30日　障害児こども祭り参加
　　　もみじ福祉会第3回評議員会
　　　もみじ福祉会第35回理事会

後援会コーナー

本年度、後援会費を納入頂いている、個人、団体の皆様（前号続き、敬称略）

藤本　明	沖本　光彦
落合　久徳	古城門淳子
平田　理絵	池内　利美
菊田　郁子	井上佳代子
中島　久子	高美　直行
増田　節子	古川　大介
小森田静香	田代由美江
松末　和枝	永井　郁江
見吉　道徳	堀江　一夫
中井　章弘	増田　和人
花田　弘美	五島　平夫
竹中　雄一	渡辺　広
福田　圭子	東　文雄
原田　明	藤谷　隆範
茶幡　隆之	高美　修
木村　忠孝	杉本　誠

おねがい

後援会ではグループホーム・身障ホーム建設支援のため、「書き損じハガキ・未使用切手等の収集キャンペーン」と「ホーム建設募金箱設置運動」を開始しました。募金箱（高さ11㎝・直径9㎝の筒型）を置かせて頂けるお店・会社・団体などを探しています。
ぜひご協力お願いします。

ウエス you CAN クエス you CAN リサイクル

・・・“リサイクル”って、きっとキャッチボール・・・

皆様方に「ご不要になった衣類、タオル製品（綿一〇〇％）やたまって困るアルミ缶をおわけください」とお願いしはじめたのがいまから約一年前。地域の皆様にもだいぶ浸透してきましたこのリサイクルの仕事。

「音が聞こえてきたから…」と、わざわざアルミ缶の袋を持って直接仲間に渡してくれるご近所の方、「こんなのでもいいのかしら…」と玄関先に衣類を置いていかれる方など、直接地域の皆様とつながって仕事をすることが出来ているんだなあ…と改めて実感しています。

仕事としてもだいぶ定着してきており、仲間が積極的にそれぞれの仕事にかかわることが出来るようになってきました。雨が降っても、「アルミ缶つぶしがしたいと思います。」と外を眺める仲間がいるほどです。

ちょっと、ひと休み…

気になる収益の方は…アルミ缶が一キロ五十五円、ウエスが一キロ二百五十円。アルミ缶は個数になおすと一キロが約六十缶、ゴミ袋一袋分でだいたい一キロです。ウエスはTシャツ約七枚で一キロになります。

いまでは少しずつ収益も得ることが出来ており、「もっと頑張るぞ。」「色々な人に呼び掛けて材料をもってきてもらわんと。」と、仕事にたいしてより貪欲？になり、また仕事をすることが何より仲間の励みになっております。

そんな仲間のやる気も皆様のご協力があってこそ。皆様のご不要になった衣類や、アルミ缶を材料にして、我々は頑張ることが出来るのです。

皆様から受け取り、我々がかえしていく。リサイクルって、そんな素敵なキャッチボールなんですよね。地域の皆様と、仲間とでそんなキャッチボールをしながら仕事をすることが出来るのって、結構いいですよね。

仕事が定着してきたとはいえまだまだこれからです。冬将軍の到来で、アルミ缶の数も淋しくなりつつあります。これからも地域の皆様をはじめ、色々な方とつながっていったり、仲間が達成感や自信を持って仕事が出来るように一緒になって頑張っていきたいと思います。

皆さんも、このキャッチボールに参加してくださいね。

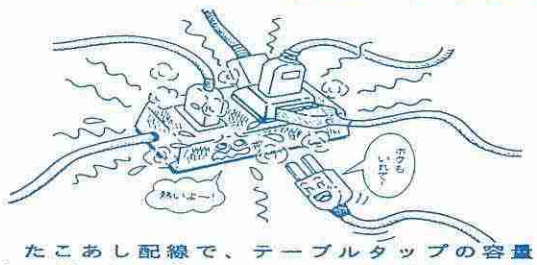
そう、ウエス（Yes）、you 缶（can）、リサイクルです。

真剣です。

ご寄付　ありがとうございます

- 村田　茂　様
- 仲間の資金作り委員会　様
- 大野　様
- もみじ福祉会　後援会　様

たこ足配線　熱くなる、危険なコード。



たこあし配線で、テーブルタップの容量をオーバーして使っていると、火災の原因になります。
広島市中消防署

もみじオリジナルカレンダー

カラーでお見せできないのが残念……

パソコンアート、タイプアート、水彩画、油絵など色鮮やかで多彩な構成。

半年以上かけカレンダー完成
今年は完売願う
通所授産施設「もみじ作業所」
最高のとき／ロコミ・バザー頼り

日付のスペースも大きく、スケジュールも書きやすく。21世紀の始まりにふさわしいカレンダーをめざしました。

ぜひ、もみじカレンダーをお買い求め下さい。

販売価格 800円
サイズ A3二つ折り

読売新聞（2000. 11. 15付）でも紹介されて、話題沸騰!!

編集後記

冬将軍来たる！。最近どんどん寒くなってきましたね。風邪などひかぬようくれぐれも注意しましょう。☆さて、紙面でも触れましたようにもみじ福祉会は、今年の十月グループホーム第二号「たんぽぽ」をスタートさせました。現在たんぽぽでは四名の女性の仲間が親離れ生活に挑戦しています。☆今後グループホーム三号、四号、そして身障の仲間の生活の場（身障福祉ホーム）も必要です。☆「もみじでは寮を作ろうと頑張ってるんだよね。」ある小学校のバザーで男の子が言ってました。☆さあ、がんばっていきましょう。